



香川県は 人生の大恩ある地

あなぶきアリーナ香川スペシャルアンバサダー

川淵 三郎

- 1964年 東京五輪サッカー日本代表
- 1980年～1981年 サッカー日本代表監督
- 1991年 社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ) 設立、初代チェアマン(理事長)就任
- 2002年 財団法人日本サッカー協会(JFA)会長就任(現:相談役)
- 2015年 一般社団法人日本トップリーグ連携機構(JTL)代表理事長就任
- 2019年 一般社団法人 Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (ECSA) 代表理 事 会 長 就 任

の力が大きく関わっていますが、瀬戸内海に連絡船があったから、川淵さんがサッカーの道に入ったというのは驚きと同時に、うれしいお話です。これからは瀬戸内海の船旅を大事に考えていきたいと思っています。

川淵 船と言えば、僕は小さい時に三味線を習っていました。それを知っている人が、文化勲章受章のお祝いに三味線を贈ってくれたんですよ。これは、何か弾かなければと大変なプレッシャーで、このたび知事にお会いすることもあり「金毘羅船々」を練習しました。

知事 それはすごい！今再び三味線の稽古をなさる川淵さんのチャレンジ精神に感服いたします。その心意気で、サッカーのリーグプロ化やバスケットボールのリーグ統合にご尽力され、今もスポーツ界やエンタテインメント界の先頭に立って、ご活躍なさっておりますが、違う世界に踏み込むには相当なご苦労があったのではないのでしょうか。

川淵 日本のサッカーは、世界どこかアジアの中でも長い間、全く芽が生まれませんでした。ですから、一度はサッカーを諦めて、仕事に没頭しました。自分なりに手応えも感じ、出世の道も見えてきたという51歳の時に、関連会社への出向命令が下りました。そんな時に

知事 1964年の東京オリンピック、サッカー日本代表として対アルゼンチン戦でゴールを挙げた川淵三郎さん。その後は日本代表の監督やJリーグ初代チェアマンとなり、日本のサッカー界を先導してこられました。東京2020オリンピック・パラリンピックでは選手村村長も務められ、多くのスポーツマンからキャプテンと慕われている川淵さんですが、香川県とは浅からぬご縁があるとか。

船に乗って海を渡るのが、僕の大きな憧れだったんです。大阪の代表校メンバーとして西日本大会に出場するため香川県に入り、合宿の合間に栗林公園と屋島、こんぴらさんを巡りました。特に栗林公園の松の並木が印象的でした。日本にこんな素晴らしい景色があるんだと思いましたよ。続いているうちにサッカーが面白くなり、そこからサッカーとの縁が始まりました。

知事 香川県の発展には、水運をはじめ瀬戸内海

知事対談 川淵 三郎 × 池田 豊人

KAWABUCHI SABURO

IKEDA TOYOHITO

キャプテンゆかりの地に

中四国最大級のアリーナ誕生！

Jリーグスタートに尽力してみないかとお話を

に入れるという姿勢を貫きました。

いただいたのです。プロ化を通じて、日本のサッカーを盛んにしようと決心しました。Jリーグスタートに当たって、僕の中にあつたのは、選手時代に合宿したドイツのスポーツシュレ^{※2}でした。広大な土地にさまざまなスポーツ施設や宿泊施設があり、誰もがスポーツをエンジョイしています。これが僕の原点であり、地域に根差したスポーツクラブを、どうやったら日本につくることができるのか、その試行錯誤がJリーグの30年でした。ですから、地域がバックアップする体制が整っているチームを、リーグ

知事 今のお話を伺って勇気づけられました。香川県はバスケットボールの裾野が広く、渡邊雄太選手というスターも誕生しました。ぜひともバスケットボールを県民スポーツとして根付かせ、香川県の名を全国にとどろかせたい。その会場にもなる中四国最大級の約1万人を収容できる「あなぶきアリーナ香川」が、いよいよ2025年2月にオープンいたします。そして、このスペシャルアンバサダーを川淵さんに引き受けていただき、心強い限りです。アリーナには、スポーツやコンサートなどの大規模イベントを

期待されている方が多いと思いますが、アリーナが果たすべき地域への役割というものはあります。

川淵 ほぼ完成した外観の素晴らしさを目の当たりにしました。海が見える周囲の環境は申し分ありません。あとは、日常的に人が集まる楽しい場所をどう作っていくかが肝心です。地域性もあるので、まずは、思い切つてやってみることが大切だと思います。多くの人が集まるとエリア全体が活性化しますし、さらに相乗効果も生まれます。

知事 たとえば、アリーナ周辺に飲食施設が増えれば、日常的に人が集まるエリアになるのではないかと考えています。今後も継続して、エリア全体で日常的なにぎわいを生み出す方策を考えてまいります。

川淵 最後にね、これをお見せしようと思つたのですが、金刀比羅宮のお守りです。日本サッカー協会の名誉総裁である高田宮妃殿下から毎年頂戴しているお守りで、肌身離さず持ち歩いています。

知事 妃殿下はお父さまが香川県のご出身です。川淵さんと香川県とのご縁は、やはり深いものがあるんですね。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



川淵さんは アリーナの恩人

香川県知事
池田 豊人



あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)

※2 大規模な滞在型総合スポーツ施設。トレーニングや研修のための施設のほか、宿泊施設やレジャー施設などを併設し、地域の人々のレクリエーションなどにも活用されている。

※1 川淵三郎さんは利用者目線のアリーナ建設や運営等について発信するために設立された「一般社団法人 Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (エンタテインメント コミッティ フォー スタジアムアリーナ、略称ECSA(エクサ))」の代表理 事 会 長 に 2019年 に 就 任 し て いる。